

# 全学連関西通信

2024/12/04

全日本学生自治会総連合(矢嶋委員長)  
Mail : mail\_cn001@zengakuren.jp  
Twitter : @Zengakuren  
HP : www.zengakuren.jp

## 戒厳令許すな！韓国人民と連帯し中国侵略戦争阻止を 全学生は 12.13 全国学生反戦集会へ



3日23時、韓国・尹錫悦大統領が韓国全土に「非常戒厳令」を発令した。米日韓軍事同盟を構築し、北朝鮮との緊張を激化させ中国侵略戦争に突き進むユン政権が、労働者民衆の怒りの爆発を圧殺するために、遂に軍事独裁を復活させるためのクーデターに踏み切ったのだ。断じて許すことはできない。動員された兵士と実力で対決し、国会を包囲している韓国労働者人民と連帯し、中国侵略戦争阻止の反戦闘争に立ち上がろう。全ての学生は12.13 京大全国学生反戦集会に結集しよう。

### 韓国・戒厳令発令弾劾！

ユン政権は10月15日、韓国が3回にわたり平壤の上空にドローンを侵入させてビラを撒き、11月13日には日米韓共同訓練「フリーダムエッジ2024-2」を行っていた。これに対して北朝鮮スターリン主義も南北を繋ぐ道路を爆破するなどの対抗措置に出て、朝鮮半島の軍事的緊張は最高レベルに達していた。そして、この間ユン政権は労働者非正規化と労組潰しを推し進め、民衆の生活を破壊してきた。

これらに対する怒りの爆発(支持率2割未満)にユン政権は追い詰められ、この怒りの爆発を圧殺するため、「従北勢力を撲滅する」として全斗煥以来44年ぶりの戒厳令に踏み切った。政治活動・ストライキは禁止され、無令状での逮捕が可能になり、陸軍特殊部隊が国会に突入した。(裏へ)



### 闘争スケジュール

- 12.6 暴処法弾圧粉碎！怒りの広島地裁包囲行動  
12月6日(金) 12時 広島拘置所前(京都から車で移動)
- 12.8 京都反戦デモ  
12月8日(日) 16時 三条大橋下河川敷西詰
- 12.13 全国学生反戦集会・デモ  
12月13日(金) 12時 京大吉田キャンパスクスノキ前

## 世界を揺るがす「トランプ再登場」情勢

日帝が米帝と一体となって韓国をも動員しながら中国侵略戦争に突進していることが、この戒厳令であり「朝鮮半島有事」の真の原因だ。そして何より、米帝大没落—「トランプ再選」情勢こそがこの戒厳令を誘発したのだ。

バイデン政権に対する怒りをファシスト的に取り込んで返り咲いたトランプは、自らに対する起訴の取り消し、国会議事堂襲撃で収監されている囚人の釈放を公約し、「右からの革命」を押し進めつつ、主要人事を対中・対イランの強硬派の極右らで固め(下図参照)、むき出しの暴力で排外主義を貫徹する

### トランプ次期政権の主な人事

#### 国務長官 マルコ・ルビオ

対中国・イラン強硬派。「(中国は)米国が直面したことのない最大の敵対国」

#### 国家安全保障担当大統領補佐官 マイケル・ウォルツ

対中国・イラン強硬派。「イスラエルは報復としてイランの核施設などを攻撃すべき」

#### 国防長官 ピート・ヘグセス

FOXニュース司会者、ネオナチ

#### 政府効率化省トップ イーロン・マスク

テスラCEO、SNS「X」取締役

#### 商務長官 ハワード・ラトニック

投資銀行CEO、政権移行チーム共同議長

#### 大統領次席補佐官

#### スティーブン・ミラー

「不法移民を捕らえ飛行機で帰国させる」

#### 国土安全保障長官

#### クリスティ・ノーム

サウスダコタ州知事として国境管理強化のため州兵をメキシコとの国境に派遣した

ことを公言している。彼らは「自由貿易がもたらした製造業の苦境が労働者に絶望をもたらした」(商務長官候補ハワード・ラトニック)などと叫び、中国からの輸入品に10%の追加関税を、カナダ・メキシコに対しても25%の関税をかけると表明した。

しかし、これは単なる経済政策ではなく、大没落する米帝の生き残りをかけた極めて暴力的な中国への攻撃であり、それ自身が一個の戦争行為だ。この凶暴極まるトランプ政権の登場こそ、今日の米帝の大没落を最も象徴する事態であり、資本主義・帝国主義の歴史的命脈が完全に尽き果てたことを示

している。そして、何よりトランプはアメリカ中に渦巻く労働者民衆の怒りの標的になったのだ。選挙期間中も激発したストライキや反戦デモのうねりが、今度は中国侵略戦争に突き進むトランプ政権に向かって。米国内の内乱的情勢の到来は不可避だ。

そして、この情勢は日本や韓国といった、「中国侵略戦争同盟」の各国での階級対立をさらに先鋭化させていく。だからこそ、石破やユンといった日韓の支配階級は、中国侵略戦争を絶対に貫徹するためにますます凶暴化していかざるをえないのだ。

## 韓国人民の闘いに断固連帯し日帝打倒しよう

この政治危機・戦争危機の一切の元凶は、米日帝が韓国を抱き込んで進める中国侵略戦争策動にあることをはっきりさせなければならない。2023年の米日韓首脳会談では「日米同盟と米韓同盟の間の戦略的連携を強化し、3カ国の安保協力を新たな高みへと引き上げる」と宣言した。ユン政権が「親日派」として嘲され、徴用工問題など日帝の戦争責任を不問に付しているのも、中国侵略戦争に向けた日米間の軍事同盟づくりが急務であるがゆえだ。

韓国の労働者民衆は、戒厳令に対して直ちに国会前に結集し、満身武装した陸軍と素手で組み合いながら必死に闘い、国会での戒厳令解除決議をもって一夜で戒厳を解除させるところにまで追い込んだ。私たち日本の学生・労働者は、この闘いに断固連帯し、韓国に対する戦争犯罪を居直り、なかんずく中国侵略戦争へと動員せんとする日本帝国主義・石破政権を打倒する闘いに立ち上がろう。

11月24日には、米軍・自衛隊が中国侵略戦争の共同作戦計画を年内に策定し、沖縄・南西諸島とフィリピンに米ミサイル部隊を展開する方針であることが明らかになった。南西諸島からフィリピンに至る「第一列島線」上の広大な地域全体を中国侵略戦争の「戦域」とし、東アジア全体を地獄の戦火に叩き込むものだ。断じて許せない。

いま求められているのは、学生・労働者の戦争反対の実力のデモ・ストライキを拡大させ、「中国侵略戦争阻止」を真正面から掲げて自国政府と対決することだ。12.13全国学生反戦集会は、学生・青年の荒々しい実力の反戦闘争、中国侵略戦争阻止の旗を大学キャンパスの中枢に打ち立てる闘いだ。ここに日本階級闘争の内乱的爆発の帰趨がかかっている。全学生は12.13集会に結集し、全学連とともに日帝の中国侵略を内乱に転化する闘いに立ち上がろう。(了)